



19回目の海の子との交流 西井川小・伊座利校交歓学習

西井川小学校(4～6年生31人)と、美波町の伊座利校(小中併設校13人)とが1月18日に井川スキー場腕山で交流をしました。

夏は伊座利で磯学習、冬は井川でスキー学習というこの両校の交歓学習は平成13年から毎年続いており、今年で19回目を数え、お互いに楽しみの恒例行事となっています。

両校の子どもたちは、久々に会う友達と話をしたり、スキーを教えあつたりと交流を深め、友情を確かめ合っていました。



安心安全のジビエを提供 祖谷の地美栄が農水省の認証

山で捕獲された鹿や猪を食肉に処理をしている食肉処理施設「祖谷の地美栄」が、全国2例目となる農林水産省の国産ジビエ認証施設として1月9日に認証を受けました。

祖谷の地美栄は、三好市鳥獣被害防止対策協議会が約5年前に開設した施設で、東祖谷地区猟友会が運営を行っており、処理した肉は市内の宿泊施設などに提供されています。

今回の認証で、食肉のパッケージに認証マークを表示でき、消費者に安心安全をアピールすることができます。



未来に向けて踏みしめて 出合草鞋の会がわらじを贈呈

わらじを作るなどの地域活動をしている住民グループ「出合草鞋の会」が、池田中3年生に手作りのわらじを贈りました。会の創設以降毎年贈呈しており、今年で4回目となります。

わらじは滑りにくく、川や雪道で現在でも使用する人もいるそうで、3年生においては、受験に滑らないようにという願いも込められています。同会のメンバーから「未来に向けしっかりと踏みしめながら人生を歩んでください」という言葉とともに贈られ、各クラスの代表が受け取りました。



とくし丸運行開始 山間部での 生活の一助に



移動が困難な高齢者などのニーズに応え、県内外で運行する移動スーパーのとくし丸がサンシャイン池田と業務提携し、三好市内で営業を開始しました。

1月11日には、とくし丸を運行するサンシャイン池田の駐車場で出発式が行われ、テープカットなどの式典後、食料品や生活用品を満載した移動販売車が出発しました。今後、とくし丸は池田、井川両町の山間部の約80軒を週1～2回訪問する予定です。

また25日には、三好市とサンシャインチェーン本部とで、高齢者等の見守り活動に関する協定の締結が行われました。この協定により、とくし丸のドライバーが、郵便物がポストにあふれていたり、徘徊中の認知症高齢者を見つけたりした場合、みよし地域包括支援センターなどの関係機関に連絡するなどの協力をしていただけます。



知力と脚力で障害を攻略 阿波シクロクロス大会を開催

晴天に恵まれた1月27日、三野防災公園で阿波シクロクロス大会が開催され、県内はもとより四国や関西の自転車愛好家177名が参加しました。

シクロクロスとは、砂地や段差などが設置されたコースで周回数を競う自転車の障害物レースで、参加者は自転車を担いだりしてコースを攻略しました。

この大会は四国シクロクロスシリーズの一環として実施され、三好市では2回目の開催。自転車を通じたスポーツ振興や各地からの参加者に三好市の良さをPRする良い機会となりました。



市観光サイトがベスト100に フォトジェニックサイトアワード2018

三好市公式観光サイト「大歩危祖谷ナビ」が、優れたウェブサイトを選ぶフォトジェニックサイトアワード2018のベスト100アワードに選ばれました。

この賞は、観光庁ウェブサイトに掲載される全国1700以上の観光ウェブサイトの中から(一社)フォトツーリズム協会が選定するもので、四国では本市と小豆島観光協会の2サイトのみの選定でした。

市観光協会が市の委託を受け管理する「大歩危祖谷ナビ」は、昨年リニューアルされ、内容はもとより写真の迫力と多言語対応が、特に評価されました。



がんと闘い地球一周を達成 間寛平さんが講演

1月17日、三野体育館において、三好市民大学講座および三好市人権教育講演会が開催されました。講師によしもとお笑いタレントの間寛平さんをお迎えし「アースマラソンの裏側すべて話します」と題してご講演をいただき、約740人が耳を傾けました。

間さんは、ガンと闘いながらも自らの足で地球一周に挑戦するという、決して諦めない努力、支えてくれた人々への感謝、笑顔の大切さなどを、ギャグを交えて話され、会場は温かい雰囲気と楽しい笑い声に包まれました。



1年の商売繁盛を願う 福求めえびす祭りにぎわう

商売繁盛や地域の繁栄を願う恒例のえびす祭りが、1月10日に池田町中町のえびす神社で行われ、福を求めた多くの参拝客が訪れました。

神社近くの販売所では、巫女の衣装をまとった福娘が、鯛や俵など縁起物の飾りがついた福笹や熊手を販売し、商店主など多くの参拝客が次々と買い求めていました。

このほか買い物をした方を対象にした福引や約1万個の福もち投げ、温かいぜんざいのお接待も行われ、神社周辺は参拝者の笑顔があふれました。



フルカウンターが4連覇 第15回雪合戦四国大会

第15回雪合戦四国大会が1月26日27日の2日間、いやしの温泉郷グラウンドで行われ、県内外から計30チーム約300人が熱戦を繰り広げました。

大会は、全国大会を目指す四国リーグのほか、中学生以上のエンジョイと小学生のジュニアリーグで熱戦を展開。瀬戸内を拠点とするアイドルグループ「STU48」も昨年に引き続き出場し、フェアプレー賞を獲得する活躍をみせました。

四国リーグでは西祖谷のフルカウンターが4連覇を達成し、長野で行われる全国大会の出場権を手に入れました。



地域の安全・安心を誓う 三好市消防団出初式

三好市消防団出初式が1月13日に三野体育館で開催され、市内54分団735人が参加しました。

式典では、市長の式辞をはじめ、宮成連合消防団長が「あらゆる災害に対し、迅速で的確、安全に対応できるように訓練に努めてほしい」と訓示。その後、表彰授与などが行われ、最後には火の用心を三唱し、消防団員らは防火防災活動への誓いを新たにしました。

また諏訪公園では、池田町消防団第1分団によるたる回しが披露され、見物客から盛んな拍手が送られました。